

2021年度 納税表彰

2021年11月16日

於・富山税務署

◎富山税務署長表彰

近藤裕世氏（富山間税会副会长）

納税意識の高揚や正しい税知識の普及に貢献したとして、富山税務署瀬戸署長から表彰状と記念品の授与式が行われました。当会からは、近藤副会长長が表彰を受けられました。



授与式（於：富山税務署）
左：近藤副会长 右：富山税務署 瀬戸署長

コロナウイルス感染症 対応医療従事者支援

2021年6月23日

於・日本赤十字社富山赤十字病院

最前線で戦う医療従事者の方々を寄附で支援をさせていただき、日本

赤十字社富山赤十字病院へ寄附を行いました。富山赤十字病院にて寄附贈呈式が行われ、感謝状をいただきました。



寄附贈呈式（於：富山赤十字病院）
富山赤十字病院 平岩院長
日本赤十字社富山県支部 富山間税会
大坪事務局長 朝日会長、釣専務理事、故 宮本常務理事

2021年度「税の標語」優秀作品

2021年11月12日

於・富山税務署

全国間税会総連合会 入選

富山税務署長賞

社会と私 助け合う税 つなぐ税

富山税務署長賞

納税は 世代をつなぐ 未来の架け橋

富山県立富山中部高等学校 宮島芽

全国間税会総連合会 入選

富山市立興羽中学校 宮島芽

社会と私 助け合う税 つなぐ税

富山税務署長賞

納税で 持続可能な 町づくり

富山市立芝園中学校 山崎理央

富山間税会 優秀賞

◎全国納税貯蓄組合連合会会長賞
「生存」を「生活」に

富山市立興羽中学校 石畠 里紗

私は、三人の妹がいる。そして下の二人は双子だ。二人は今でこそ元気に暮らしているが、小さい頃は様々な病気で大変だった。

双子は妊娠から出産、さらに育児までにおいて、多くの面でリスクを伴う。母と妹たちも例外ではなく、出産の時には当初予定していた病院から急遽、救急車で大きな病院に運ばれた。そこから無事産まれたものの低出生体重児だったため、しばらくNICUでの入院が続いた。さらに退院後も病気がちで、何かと病院にお世話になることが多かつた。

当時六歳だった私にはお金の事など気にする余裕もなく、ただ母と妹たちの健康を願うことしか出来なかつた。しかし、今思えばこの時、あらゆる場面で税金に助けられていたのだ。救急車もNICUも、しばらく続いた通院も、全て税金で賄われている。もし全額自己負担だったら、どうなつていただろう。想像もつかないが、妹たちの命や、今の家族団欒の充実した暮らしになかつたかもしれない」と考へると、あのとき妹たちの「生存」と家族の「生活」を助けてくれた税金のありがたみを、より強く感じた。

私は今まで、税金に対してマイナスなイメージを抱いていた。消費税を十パーセン

ト支払うことに、抵抗を感じていたのだ。しかし、九年前の出来事を改めて思い出したことでその考えが大きく変わつた。別の見方をすると、たつた十パーセントで、社会に貢献できるのだ。大人になると今よりも払わなければならぬ税の種類が増え、不安になつたり、不満が出てきたりするかも知れない。しかし、一生懸命働いて納めた税金は、いつか誰かが困つたとき、助けが必要なときに必ず還つてくる。その対象が自分になることもあるかもしれない。日本では納税の義務があるが、それは同時に、誰もが幸せに生きる権利が保障されているということだ。今、私たち姉妹が全く元気に暮らせているのは紛れもなく税金のおかげだから、共働きの両親にはもちろん、税金のある社会にも感謝を忘れてはならないと、私は思う。

「生活」日々の糧を得ながら、それぞれの環境の中で生きて行くこと。私が持つている辞書には、こう書かれている。生きながらにして、「活きていく」。誰もがそう感じられるような社会をつくるためには、税金が必要不可欠だろう。

私は将来、医療に携わる職業に就きたいと考えている。妹が入院したときに目にしたお医者さんや看護師さんの働く姿がとてもかつこよく、憧れたのがきっかけだ。一生懸命学び、時には税金の力も借りながら、患者さんの「生存」を守り、「生活」するための手助けが出来たらと思う。夢が叶う日まで、まずは税金を正しく理解し、納め

メジを抱いていた。消費税を十パーセン

私は今まで、税金に対してもマイナスなイメージを抱いていた。消費税を十パーセン

と支払うことに、抵抗を感じていたのだ。しかし、九年前の出来事を改めて思い出したことでその考えが大きく変わつた。別の見方をすると、たつた十パーセントで、社会に貢献できるのだ。大人になると今よりも払わなければならぬ税の種類が増え、不安になつたり、不満が出てきたりするかも知れない。しかし、一生懸命働いて納めた税金は、いつか誰かが困つたとき、助けが必要なときに必ず還つてくる。その対象が自分になることもあるかもしれない。日本では納税の義務があるが、それは同時に、誰もが幸せに生きる権利が保障されているということだ。今、私たち姉妹が全く元気に暮らせているのは紛れもなく税金のおかげだから、共働きの両親にはもちろん、税金のある社会にも感謝を忘れてはならないと、私は思う。

「生活」日々の糧を得ながら、それぞれの環境の中で生きて行くこと。私が持つている辞書には、こう書かれている。生きながらにして、「活きていく」。誰もがそう感じられるような社会をつくるためには、税金が必要不可欠だろう。

私は将来、医療に携わる職業に就きたいと考えている。妹が入院したときに目にしたお医者さんや看護師さんの働く姿がとてもかつこよく、憧れたのがきっかけだ。一生懸命学び、時には税金の力も借りながら、患者さんの「生存」を守り、「生活」するための手助けが出来たらと思う。夢が叶う日まで、まずは税金を正しく理解し、納め

協賛会員企業・団体様／50音順											
富山港湾運送株	東亜薬品株	中部観光	大松青果	大協紙商事	鈴木工業	近藤建設	クリーン産業	桶屋泰三税理士事務所	オーネクス	朝日印刷刷	富山日野自動車
富山港湾運送株	東亜薬品株	中部観光	大松青果	大協紙商事	鈴木工業	近藤建設	クリーン産業	桶屋泰三税理士事務所	オーネクス	朝日印刷刷	富山日野自動車
富山港湾運送株	東亜薬品株	中部観光	大松青果	大協紙商事	鈴木工業	近藤建設	クリーン産業	桶屋泰三税理士事務所	オーネクス	朝日印刷刷	富山日野自動車
富山港湾運送株	東亜薬品株	中部観光	大松青果	大協紙商事	鈴木工業	近藤建設	クリーン産業	桶屋泰三税理士事務所	オーネクス	朝日印刷刷	富山日野自動車



クリアファイル贈呈式（於：富山税務署）

国税庁の取り組みである「税を考える週間」行事に際し、富山市租税教育推進協議会へ「世界の消費税164カ国」租税教育用クリアファイルを開く租税教室で生徒に配布されるほか、富山間税会が募集する「税の標語」の参加賞として参加校や生徒の皆様に贈られます。また、クリアファイル裏面下部には、令和2年度「税の標語」全国間税会総連合会最優秀賞の「くらしを支える消費税」しっかりと学んで正しく納税」が掲載されています。